

景況調査 H30 年度分結果報告

-アンケート期間: H30.4月～ H31.3月-

今回、平成30年分景況調査の報告をします。今回も経営者にとって命ともいえる「資金繰り」に注目し、全国の調査結果と鳥栖の調査結果をDI値にて比較しました。

景況調査（資金繰りDI結果）全国版

	4-6月	前期差	7-9月	前期差	10-12月	前期差	1-3月	前期差
製造業	▲8.5	0.7	▲9.2	▲0.7	▲9.1	0.1	▲10.2	▲1.1
建設業	▲3.6	1.3	▲3.7	▲0.1	▲2.1	1.6	▲1.1	1
卸売業	▲9.5	▲3.1	▲6.7	2.8	▲6.8	▲0.1	▲9.1	▲2.3
小売業	▲19.0	▲0.4	▲20.2	▲1.2	▲19.2	1	▲17.8	1.4
サービス業	▲10.9	1.3	▲12.1	▲1.2	▲11.6	0.5	▲10.8	0.8

注目ポイント

小売業、サービス業の資金繰りが悪化していた期首から勘案すると、同業種は悪化の動きが拡大している。建設業は回復の兆しがあるものの、依然として全業種に渡り厳しい状況である。

景況調査（資金繰りDI結果）鳥栖版

	4-6月	前期差	7-9月	前期差	10-12月	前期差	1-3月	前期差
製造業	▲20.0	▲20.0	▲40.0	▲20.0	0	40.0	0	0
建設業	▲20.0	▲40.0	▲40.0	▲20.0	▲20.0	20.0	▲20.0	0
卸売業	0	0	0	0	0	0	0	0
小売業	0	80.0	▲33.3	▲33.3	▲33.3	0	▲40.0	▲6.7
サービス業	11.1	31.1	0	11.1	0	0	0	0

注目ポイント

全国と比較しても、鳥栖管内の事業者の資金繰りはサービス業においてのみ横這いで、他は悪化の流れが広がっている。早めの資金調達と運用が重要となる。

景況調査・・・中小企業、小規模企業の景況を把握し、資料や情報の収集の為四半期毎にアンケート方式で実施しています。

- ◆調査期間 平成31年4月～令和元年6月
- ◆対象企業 鳥栖市内小規模事業 30事業所
- ◆業種 製造5、建設5、卸売3、小売7サービス10 計30事業所

※小規模事業とは、商業・サービス業では 従業員5名以下、それ以外の業種は20名以下の企業をいう。

DI値・・・ゼロを基準として、プラスの値は上向き傾向を表し、マイナスの値は下向き傾向を表します。
DI = (増加・好転などの回答割合) - (減少・悪化などの割合)

《経営力アップのために！！》

当初HPに「顧客名簿獲得ノウハウ」というテーマで【商業界7月号P20~21】を参照記事として掲載しております。ポイントを押さえ、分かりやすいものとなっております。リピーター獲得の為のご参考にしてみてくださいはいかがでしょうか？是非ご覧下さい！！